

櫻谷 真理子

児童相談所の心理職として働いた経験があり、子どもの発達、非行、いじめ、不登校、児童虐待などの問題に関心を持っています。臨床的には、特に児童虐待に関わっており、子どものケア、家族援助、子育て支援などの研究をすすめています。

1. 専門演習の目標

児童福祉、教育の現場で生起している子どもと家族にかかわる諸問題をとりあげ、基本的な理解を深め、解決の方向を探ることが目標です。なお、問題の本質を明らかにするために、心理、福祉の領域だけでなく、関連諸科学の研究も視野に入れながら、様々な角度から検討を加えていきます。

2. 専門演習で扱う課題と内容

これまでのゼミでは、自閉症児の発達、学習障害児、不登校、非行、思春期の問題、アダルトチルドレン、ドメスティック・バイオレンス、児童虐待、子どもの発達、保育問題、育児支援などの課題が取り上げられ、文献研究、調査、体験学習が行われてきました。保育、教育、福祉の分野で働くことを希望する学生は実践的な力量も身につけることを目指します。

3. 授業の進め方・内容

3回生時は、テーマにそって班編成を行い、ゼミ発表と討論を基本にしてゼミ運営を行います。文献学習だけでなく調査研究やフィールド・ワークなどにも積極的に取り組むことを期待しています。

4回生時は、卒業研究とその報告が中心になります。なお、学内外の研究会等へもできるだけ参加して、視野を広げて欲しいと思います。

4. 必要とする知識

子どもの発達、児童福祉に関する基本的な知識。

5. 関連する分野・科目・知識

発達心理学、臨床心理学、児童福祉学、家族社会学、児童精神医学、教育学。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

山野良一『子どもの最貧国・日本』光文社新書

柏木恵子『子どもが育つ条件』岩波新書

垣内国光・櫻谷真理子編『子育て支援の現在』ミネルヴァ書房

7. 独自に付加する選考方法

特になし。

8. 受講生に望むこと

ゼミ時間以外にも仲間と共同で学び、発表の準備をすることも多いので、サークル活動やアルバイトなど時間の調整が必要になると思います。